

東海北陸

Branch Report Vol.63

TOUKAI-HOKURIKU

2015.August

■高野山



■吉野大峯



■大峯奥駆道



■高野山町石道



■熊野参詣道(熊野古道)



■熊野三山



写真提供：三重県立熊野古道センター

世界遺産：熊野古道



公益社団法人
日本建築積算協会・東海北陸支部

支部長あいさつ	戦争が出来る国は幸せか？	支部長 小野 徹郎	1
平成27年度	東海北陸支部定時総会報告		2・3
平成27年度	事業計画		4・5
平成26年度	収支決算書		6
平成27・28年度	支部役員名簿・支部委員名簿		7・8
事業計画委員会だより	事業計画委員会 委員長 棚谷 将紀		9
会員委員会だより	会員委員会 委員長 中川 英人		9
講習委員会だより	講習委員会 委員長 山田 治		10
教育委員会だより	教育委員会 委員長 藤曲 充信		10
設計審査委員会だより	設計審査委員会 委員長 伊藤 健蔵		11
データベース委員会だより	データベース委員会 委員長 加藤 一也		11
資格制度委員会からのご案内	資格制度委員会		12
平成27年度(後半)講習会のご案内	講習委員会		13
ホームページ委員会だより	ホームページ委員会 委員 小中 利文		14
創る側	(株)山下設計 中部支社 岩田 清逸		14
自己紹介	(株)熊谷組 名古屋支店 積算グループ 清原 猛嗣		15
新広報委員となって	都築建築事務所 都築 修		15
声をかけて下さい	(株)円建築積算 松井 勉		16
積算業務報酬について	(株)押田建築設計事務所 取締役部長 堀田 富士雄		16
会員表彰をいただき	株式会社 二業積算 本社 西田 彰		17
支部役員10年	(株)NTT ファシリティズ 東海支店 勝野 徹		18
支部長表彰を受けて	建築コストサポート 伊藤 健蔵		19
支部長表彰を頂きました	(株)棟建築企画 和田 浩嗣		19
就業体験	名古屋市立工芸高等学校 建築システム科 2年 猪原 健太郎		20
「知れば知るほど楽しくなります」	(株)縁 名古屋事務所 伊藤 珠美		20
浜工高建築科の一年	静岡県立浜松工業高等学校 建築科長 豊田 浩一		21~23
趣味(旅行)と仕事	(株)鈴木一級建築士事務所 取締役 鈴木 保二		24
東京から その9	支部会員 西田 彰		25
東京から その10	支部会員 西田 彰		25
CPD制度の案内	特に建築コスト管理士の皆様へ 東海北陸支部 佐野 洋治		26
北陸部会(富山・石川・福井)	明峰積算事務所 代表 宮西 繁		27
静岡部会(暑いですねえ~)	(株)アイピーエス 長山 充裕		27
暑中お見舞い申し上げます			28~30
株式会社 大成出版社			31
協栄産業株式会社			32
ゴルフコンペ 積和会	林 進		33
編集後記			33
TOMO データサービス株式会社			34

戦争が出来る国は幸せか？



(公社)日本建築積算協会
東海北陸支部

支部長 小野 徹郎

名古屋工業大学名誉教授
工学博士

また蒸し暑い夏を迎えようとしていますが、会員の皆さんはお元気にご活躍で、お仕事も建築需要の増加に伴ってお忙しいことと思います。株価もミニバブルと言われていますが、外国投資家がいつ日本への投資を引き上げるか、ギリシャも含めての国際情勢、特にアメリカの金利政策などの影響など、いくぶん疑心暗鬼の状況下、先行きの見通しは不透明です。

今年は戦後70年の節目を迎え、6月23日には沖縄で慰霊の式典が執り行われました。時の東条内閣が、敗戦が明白になってもなおポツダム宣言の受諾を行わなかった3～4ヶ月の間に、広島、長崎の原爆投下、名古屋城の焼失等を生み、沖縄では米軍の本土上陸を遅らせる為だけの戦いにより多くの命が失われました。そしていまなお、沖縄が日本の防衛？の最前線になっている現状に私達は目をつぶる訳にはいきません。私はこの太平洋戦争の歴史を辿る中で、いつも涙するのは1943年10月21日の学生達を戦場に送り出した神宮外苑での学徒出陣の映像です。秋雨の中、本来学ぶべき場所にいる学生が、銃を持って行進する姿と、学生達の心中を思いやると、胸が張り裂けます。壇上で戦地に赴くことを鼓舞する東条首相の姿に戦争の理不尽さと怒りを感じます。

戦後レジームからの脱却と言う訳の判らない安倍首相の独りよがりのもと、いま国会で安保法制についての議論が行われています。戦争をしない国から、戦争が出来る国へ、方針を大転換する内容ですが、その議論は国民不在の感が拭えません。憲法を超えて、こうした将来の国の方向を大きく左右する問題にも拘らず議論が噛み合いません。

ま、多数の横暴で可決されようとしています。政府、日銀が一体となって世の中に金をばらまいて上辺だけの景気に踊らされているせいか、国民は現政権の危うさを感じていないように思えます。この法案のつけは私達の世代ではなく、孫の世代以降に降り掛かる可能性があります。若い世代の無関心も、働く世代の現状肯定も気になります。戦後70年の中で国際的にも評価されている「不戦の誓い」は貴重です。特にアラブ世界でのこれまでの活動は米欧とは一線を画する信頼を得ています。それを今の無能な為政者が簡単に反古にしようとしています。戦争が出来る国になるということは戦争をする国になることです。戦争と言う名の下、人殺しをする国になることです。そんなに戦争が出来る国は幸せなのでしょうか？今一度立ち止まって考えるべきです。

そんな中、積算協会は今年40周年を迎え、5月30日、横浜シンポジウムで記念大会が開催されました。大会テーマは「グローバルマーケットへの対応」で、基調講演「外から見た日本の建設技術者」(宮崎丈彦氏)とパネルディスカッション「“チャレンジ” 未来に向けて」(モデレーター：生島宣幸氏)が開かれました。新鮮で興味深い内容で、宮崎氏は「高コンテキスト文化」と「低コンテキスト文化」という切り口で、海外での日本の建設業の展開に疑問を投げかけ、コミュニケーション能力と世界で共有できる技術の重要性など、今後の目指す方向を示唆しました。パネルディスカッションでは(1)コスト管理のエキスパートを目指して、(2)積算業務とBIMの関連、(3)未来に向けて歩き出そう、の3つのテーマを軸に、若い世代を中心に行われとても良い議論で、積算に関係する次世代に大いに期待を抱かせる内容でした。

今年は東海北陸支部も創設35周年を迎え、9月18日の山梨氏のBIMに関する講演会を皮切りに新しい企画を考えています。会員の皆さんも是非積極的に参加し、今後の積算業務の重要性と社会での位置づけを再認識してほしいと思います。

平成27年度 東海北陸支部 定時総会報告

1. 日 時 平成27年4月24日（金） 17:00～17:45
2. 会 場 中日パレス
名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル5階
3. 出席者 当日出席者30名 委任状248通 計278名
4. 議事

一、支部長挨拶（要旨）



桜も終わり新緑の美しい季節になりました。会員の皆様にはお忙しい中、平成27年度の日本建築積算協会東海北陸支部総会にご出席いただき有り難うございます。

政権交代後の参議院議員選挙も与党の一方的な勝利に終わり、円安基調の中、日経ダウは2万円を越えミニバブルの様相を呈していますし、貿易収支発表も2年9ヶ月ぶりに黒字となりました。大企業では久しぶりの昇給もなされ景気が回復した気分になっていますが、先行き不安な部分もあります。

私たちの活動は経済活動と無縁ではなく、建物の安全性もコストと表裏一体です。性能をきちんと評価して、性能に見合った価格設定がなされなければなりません。その適正価格算出の中心に居るのが我々積算業界です。我々は、建築という商品を競争原理の中で、性能を確保した上で、合理的な価格を設定し、提示出来る唯一の職能であり、いかなる状況の中でもその責務を果たしていかなければなりません。

日本建築積算協会は公益法人として再出発し、執行部、事務局体制も新たな布陣で公益法人としての使命を果たそうとしています。今年5月には協会創立40周年の記念事業があり、PAQSの国際会議も同時開催されます。是非多くの会員の参加をお願い致します。

東海北陸支部としては本年度の活動方針を軸に、積算の重要性を社会的に再認識してもらうよう、頑張りたいと思っておりますので、会員皆様方の一層のご協力、ご支援をお願いいたします。

一、来賓ご挨拶

本部より志岐理事にご出席頂き、ご挨拶を頂戴致しました。

一、定足数の確認（道家事務局長より）

本日出席会員数30名 有効委任状248名 計278名。
平成27年4月1日現在の議決権数388名。正会員数の過半数の出席で総会成立の報告。

一、議長選出

支部規定第8条第1項の規定により、小野徹郎支部長を指名。

◇ 議事録署名人の指名

議長より議事録署名人として堀田淳二氏と高島義昭氏のお二方を指名。



一、議案審議

■第1号議案 平成26年度事業報告承認の件

川辺総務財務委員長から平成26年度事業報告の説明があり、審議に入る。
特に発言がなく、満場の拍手で第1号議案を承認した。

■第2号議案 平成26年度収支決算及び監査報告承認の件

道家事務局長から平成26年度収支決算報告書の説明があり、審議に入る。
監事として佐野洋治監事から収支はいずれも正確であると報告があった。
特に発言がなく、満場の拍手で第2号議案を承認した。

■第3号議案 平成27・28年度支部役員候補者承認の件

川辺総務財務委員長から平成27・28年度支部候補者の説明があり、審議に入る。
特に発言がなく、満場の拍手で第3号議案を承認した。

■報告事項1 平成27年度事業計画に関する件

川辺総務財務委員長から平成27年度事業計画の説明があった。

■報告事項2 平成27年度収支予算に関する件

道家事務局長から平成27年度収支予算の説明があった。
議案審議・報告事項が無事終了し、議長退席。



一、会員表彰

公益社団法人日本建築積算協会 表彰規程第2条第2項の1により、今年度は勝野徹氏、伊藤健蔵氏、和田浩嗣氏を表彰する。小野徹郎支部長より表彰状と記念品を贈呈。

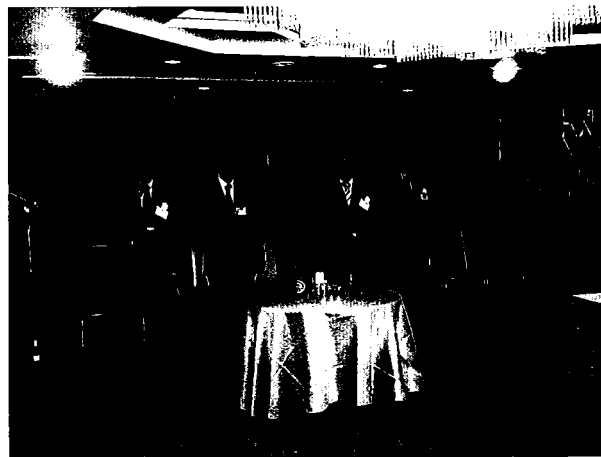
一、平成27・28年度支部長・副支部長の選任

本日選任された役員（総会出席者）の互選により、支部長に小野徹郎さん、副支部長に碓谷智彦さん、川辺清次さん、藤井正王さん、宮西繁さんを選任した。

一、小野徹郎新支部長より就任の挨拶

これまで、4期8年間支部長つとめてまいりましたが、あと1期2年を支部長として日本建築積算協会、東海北陸支部のために精一杯つとめさせていただきますのでご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

一、17時45閉会



平成27年度事業計画

I. 支部事業活動方針

公益社団法人日本建築積算協会は今年40周年を迎えます。この記念すべき年に改めて積算の重要性を認識することが求められています。我々が職能を通して出来るのは、正しい価値評価に基づく建築のコスト管理にあります。コスト管理、積算の重要性を社会により深く浸透させ、建築生産における職能の相対的評価を高める活動、自己研修を通して専門家集団としてのポテンシャルの向上を目指した活動、および大学を始めとする教育の場での積算教育を拡大する活動を軸に支部運営の活動を行います。

- 1) 積算関連資格の重要性の社会的認知と活用についての周辺整備
- 2) 非会員資格者の会員化に重点を置いた会員の増強
- 3) 地域に根ざした会員サービスの向上
- 4) 地域での若手人材の育成と資格者への新しい知識修得援助
- 5) 教育機関での建築積算教育の拡大

積算資格の社会的認知を高めることは、積算資格に対する需要を引き起こし、結果的に積算協会の基盤を固めることとなります。その一環として資格者の活用について行政に積極的に働きかけると同時に、公的な機関に設計審査制度をPRしていきます。CPD登録を中心に電子情報の多角的な運用について会員に広報、支援するとともに、会員の増強に関しては非会員資格者協会入会促進の活動をします。また会員相互の意見交換の場を拡大して会員サービスに努めます。積算士補資格を基本に教育機関に於ける積算教育の充実と拡大を計ります。活動及び運営に関しては支部会員各位の意見を反映して内容の充実を図っていきます。

II. 支部委員会活動

◇総務・財務委員会

- ①協会に新しい魅力を創出し、会勢拡大に努める。
- ②各委員会との調整を図る。
- ③会計処理の整備、予算管理の推進、事務局業務の効率化とコスト削減を図る。

◇会員委員会

- ①会員・賛助会員の増加を図る。
- ②会員サービスの向上を図る。
情報提供・親睦事業
- ③建築コスト管理士の活躍の場を、協会専任講師として養成を図る。
- ④木造住宅耐震診断の相談窓口開設を検討する。
- ⑤周年事業の記念講演会を開催する。

◇広報委員会

- ①会員・賛助会員への情報提供誌として充実した支部報を継続して発行する。
- ②会員交流の場として、会員投稿ページを設ける。
- ③会員以外への広報活動の充実を図る。

◇ホームページ委員会

- ①広く一般の方にも「積算」を知っていただける場を提供する。
 - ・ホームページのわかりやすさ、活用のしやすさを図る。
- ②会員サービスの充実を図る。
 - ・素早い情報公開。

◇講習委員会

- ①各種研修会・講習会を積極的に実施する。
- ②建築積算士更新講習会へ講師を派遣する。
- ③地域部会が実施する積算研修会を支援する。
- ④地方の会社へ講師を派遣する出張講習会を開催する。

◇教育委員会

- ①建築積算士補の認定事業に伴う、大学・高専・工業高校・各種専門学校等において、当協会作成のテキストによる積算教育導入の広報と、講師派遣及び試験を行う。
- ②管内地方公共団体等から研修会の講師の派遣依頼要請に応えるために、講師の派遣を行う。
- ③認定校への情報提供と支援を行う。
- ④ここが知りたい勉強会を通じて、種々の立場の見積（積算）担当者を支援する。

◇資格制度委員会

- ①本部が実施する建築積算士試験、建築コスト管理士試験を支援する。
 - ・建築積算士一次試験（学科） 平成27年10月25日（日）
名古屋会場：中日ビル 金沢会場：石川県勤労者福祉文化会館
 - ・建築積算士二次試験（実技） 平成28年 1月24日（日）
名古屋会場：昭和ビル 金沢会場：石川県勤労者福祉文化会館
 - ・建築コスト管理士試験 平成27年10月25日（日）
名古屋会場：昭和ビル 金沢会場：石川県勤労者福祉文化会館
- ②CPD登録の促進と支援行う。

◇設計審査委員会

設計審査システムの充実と設計審査制度の活用を広めるための活動をする。

◇データベース委員会

- ①データベースの情報整備及び拡充を図り利用しやすい環境の整備を行う。
- ②ここが知りたい積算勉強会のQ & Aを整備して会員に公開する。
- ③将来解体時建設副産物のデータ化を進める。
- ④コストデータ表の利用促進を図る。
- ⑤物価版に掲載されていない単価表の作成を進める。
- ⑥ホームページ掲載のデータベース資料を広く活用ができるように広報活動を推進する。

◇地域委員会

- ①地域別勉強会を講習委員会と連携して実施する。
- ②新規会員の勧誘を行い、地域部会の活性化を図る。

平成26年度収支決算書

平成26年4月1日～
平成27年3月31日

収入の部

科 目	予算	決算	差異
人材育成及び認定事業	1,978,000	2,387,600	409,600
学校教育	28,000	27,700	-300
社会人教育	1,950,000	2,359,900	409,900
調査研究及び情報発信事業	690,000	955,770	265,770
会誌発行	300,000	310,000	10,000
書籍出版	390,000	645,770	255,770
評価評定及び相談事業	1,140,000	648,000	-492,000
法人評定受託収入	1,140,000	648,000	-492,000
その他	12,000	1,403	-10,597
支部運営金	7,252,000	7,580,000	328,000
一般運営金収益	7,252,000	7,580,000	328,000
当期収入計	11,072,000	11,572,773	500,773
前期繰越収支差額	4,289,109	4,289,109	0
収入合計	15,361,109	15,861,882	500,773

支出の部

科 目	予算	決算	差異
事業費	4,034,000	3,631,102	-402,898
会議費	1,060,000	695,076	-364,924
会場費	552,000	572,198	20,198
旅費交通費	176,000	62,620	-113,380
印刷費	312,000	311,068	-932
図書費	331,000	560,302	229,302
外注費	550,000	373,572	-176,428
諸謝金	696,000	777,100	81,100
その他	357,000	279,166	-77,834
管理費	7,038,000	6,681,460	-356,540
給料手当	3,600,000	3,600,000	0
会議費	707,000	553,732	-153,268
旅費交通費	400,000	361,850	-38,150
通信運搬費	250,000	222,621	-27,379
什器備品費	140,000	180,385	40,385
賃貸料	1,078,000	1,072,311	-5,689
諸会費	300,000	185,000	-115,000
その他	563,000	563,000	563,000
当期支出計	11,072,000	10,312,562	-759,438
当期収支差額	0	1,260,211	1,260,211
投資活動支出	0	278	278
当期繰越収支差額	4,289,109	5,549,042	1,259,933

平成27・28年度支部役員名簿

役職名	氏名	勤務先
顧問	杉浦 讓治	元(株)二葉積算
顧問	塚田 律夫	(一社)石川県建築士会
支部長	小野 徹郎	名古屋工業大学名誉教授
副支部長 担当委員会 会員委員会、資格制度委員会、 設計審査委員会、データベース委員会	剛谷 智彦	(株)剛谷建築積算事務所
副支部長 担当委員会 事業計画委員会、ホームページ委員会、地域委員会	川辺 清次	川辺建設(株)
副支部長 担当委員会 講習委員会、教育委員会	藤井 正王	(株)みどり建築企画
副支部長 北陸支所長	宮西 繁	明峰積算事務所
事業計画委員長 ホームページ委員長	剛谷 将紀	(株)剛谷建築積算事務所
会員委員長 事業計画副委員長	中川 英人	(株)二葉積算 名古屋支社
資格制度委員長 データベース委員長 事業計画委員長	林 進	(株)林積算
講習委員長 教育副委員長 事業計画委員長	山田 治	(株)竹中工務店 名古屋支店 見積部
教育委員長 事業計画委員長	藤曲 充信	(株)アイピーエス
広報委員長 データベース委員長 事業計画委員長	堀田 淳二	(株)中建設計
設計審査委員長 教育副委員長 講習委員、事業計画委員	伊藤 健藏	建築コストサポート
データベース委員長 広報委員長 事業計画委員長 地域委員長	加藤 一也	大日本土木(株) 建築本部 建築部
会員副委員長 資格制度委員長 地域副委員長	生田 孝文	生田一級建築設計室
講習副委員長	小栗 裕重	小栗建築事務所
講習副委員長	勝野 徹	(株)NTTファシリティズ 東海支店
データベース副委員長 資格制度副委員長	植田 隆明	UDA建築事務所
北陸副支所長 広報委員長	高島 義昭	(有)高島建築積算事務所
ホームページ委員長 データベース委員長	渡邊 國雄	(株)伊藤建築設計事務所
データベース委員長 教育委員長	宇野 純也	U. S設計室
広報委員長 データベース委員長	後藤 学	大成建設(株)名古屋支店 建築部
教育委員長 設計審査委員	平井 隆志	鹿島建設(株)中部支店 建築部見積G

役職名	氏名	勤務先
講 習 委 員 員	木 原 陽	(株)竹中工務店 名古屋支店 見積部
会 員 委 員 員	古 川 元	(株)縁 名古屋事務所
会 員 委 員 員	松 井 勉	(株)円建築積算
講 習 委 員	鵜 飼 洋 行	(株)青島設計 設計室
設 計 審 査 委 員	和 田 浩 嗣	(株)棟建築企画
資 格 制 度 委 員	金 岡 文 徳	生和コーポレーション(株) 工事部
講 習 委 員	清 原 猛 嗣	(株)熊谷組 名古屋支店 積算グループ
講 習 委 員	池 田 素 久	(株)アイ・エス・エス創研 名古屋事業所
講 習 委 員	森 義 則	(株)大林組 トヨタグループ室
会 員 委 員	山 本 喜 久	神野建設(株) 建築事業部
会 員 委 員	諏 訪 淳	(株)三四五建築研究所
広 報 委 員	都 築 修	都築建築事務所
デ ー タ ベ ー ス 委 員	長 谷 川 脩	(株)浦野設計 技術営業部
デ ー タ ベ ー ス 委 員	裏 橋 信 夫	清水建設(株) 名古屋支店
デ ー タ ベ ー ス 委 員	山 内 久 高	(株)日建設計 コストマネジメントグループ
デ ー タ ベ ー ス 委 員	岩 田 清 逸	(株)山下設計 中部支社
支 部 監 事 員 ホ ー ム ペ ー ジ 委 員	佐 野 洋 治	SANコスト企画
支 部 監 事 員 教 育 委 員	堀 田 富 士 雄	(株)押田建築設計事務所

平成27・28年度支部委員名簿

役職名	氏名	勤務先
設 計 審 査 副 委 員 長 講 習 委 員	西 部 明 宏	(株)二葉積算 名古屋支社
広 報 副 委 員 長	長 山 充 裕	(株)アイピーエス 積算部
資 格 制 度 副 委 員 長	窪 田 和 則	(有)クボタ積算室
ホ ー ム ペ ー ジ 副 委 員 長	西 村 洋 司	(株)アイピーエス 積算部
北 陸 副 支 所 長 設 計 審 査 委 員	松 平 久 芳	(一社) 福井県建築住宅センター
事 業 計 画 委 員	鈴 木 保 二	(株)鈴木一級建築士事務所
会 員 委 員	松 本 裕 輔	松本建築積算事務所
広 報 委 員	桑 名 利 男	(株)中京倉庫
教 育 委 員	桑 田 隆 行	愛知県立碧南工業高等学校建築科
講 習 委 員	四 辻 靖 信	RSアーキー級建築士事務所
講 習 委 員	奥 山 寛	(株)千田工業 名古屋支店
資 格 制 度 委 員	位 田 勝 彦	(株)中野積算 名古屋支社
資 格 制 度 委 員	中 沖 修 一	佐藤工業(株) 北陸支店 建築事業部
資 格 制 度 委 員	吉 開 慎 也	(株)アイピーエス 積算部
ホ ー ム ペ ー ジ 委 員	小 中 利 文	(株)アイ・エス・エス創研 名古屋事業所
デ ー タ ベ ー ス 委 員	石 脇 誠	(株)アイピーエス 積算部
地 域 委 員	松 岡 重 幸	(有)エスム積算

事業計画委員会だより

事業計画委員会

委員長 劔谷 将紀

「総務財務委員会」が今期より本部にあわせて「事業計画委員会」に名称が変わりました。本部の事業計画委員会担当者を若い人に担当してほしいとの本部からの意向により、あまり若くない私が選ばれました。それに伴い東海北陸支部平成27・28年度の事業計画委員長に私が任命されてしまいました。

任されたからにはしっかりやりたいと思うのですが、そもそも事業計画委員会（旧総務財務委員会）が具体的にどのような委員会かわかっておりません。東海北陸支部運営要領によると事業計画委員会の役割は「支部総会、役員会、諸規定に関する事項、予決算、出納、会計管理、基本財産管理など支部財務に関する事項及び他の委員会の分掌に属さない事項例」と記載があります。このような重大任務が何もわかっていない私に務まる訳が無く、その旨は支部長・副支部長はじめ今まで東海北陸支部を支えて頂いていた重鎮方も重々承知ですので、いろいろな方に力を貸して頂き務めてまいりたいと思います。

また、今後本部より事業計画委員会での召集があると思われませんが、「若い人を」という意向に沿って私なりの考え・意見を伝えられたらと思います。そこはしっかり前委員長の川辺副支部長よりレクチャーを頂き、東海北陸支部の意見を伝えにいきたいと思います。

何はともあれ、まだ右も左もわかりませんので、支部報に書ける事柄はこの辺りでご勘弁を。

会員委員会だより

会員委員会

委員長 中川 英人

この度、東海北陸支部では、特別委員会であった「ペリカン推進委員会」の役割を「会員委員会」に移管する委員会要領の改訂があり、その任に就かせて頂くことになりました。会員増強策の策定と実施、賛助会員・購読会員の入会促進、非会員建築積算士・建築積算士補の会員促進化などを計画の骨子において活動するものです。平成26年度資格者（建築積算士、建築コスト管理士、建築積算士補）の登録者数に対して、正会員登録が約20%という現状はこの先の支部運営にも支障があり、打破していかねばなりません。やはり会員サービスや会員であることがメリットになることで人の心は動くものですから、会員委員会としてはしっかりと会員増強策の立案と実施を進めて参りたいと思います。すでに当協会40周年、支部35周年記念事業として9月18日はウインク愛知で「BIM」講演会が決定しており、また著名建築家による講演会の企画も進めている状況であります。

建築積算士、建築コスト管理士という資格は極めて重要な資格であることは間違いありません。しかしまだまだ世の中のニーズに答え切れていないからこそ評価や価値が上がらないのも現状です。ご存知の通り、新国立競技場の一次審査後の技術調査でコストの検証が抜け落ちていた、という報道がありました。如何にコスト技術に対する世の中の認知度、重要度が低いかを知らされると同時に、工事予算の帳尻は最後でなんとかなるでしょう的な発想がとんだ混乱を招いてしまったようにも思います。我々の積算技術やコスト技術という職能がこういった場面で活躍できるようになれば、地位が向上していくことはもちろん、時間や税金の無駄も省かれることにもなります。日本建築積算協会に“是非選定委員の一員に会員のどなたかご推薦を”の声が掛かる位のレベルに持っていきたいものです。

講習委員会だより

講習委員会

委員長 山田 治

平成27年度も例年通り講習会を実施しています。4月に実施しました「建築積算入門」集中講座(新人研修)では、参加人数が定員をオーバーするほどに盛況でした。また5月～6月にかけて実施しました「改修工事の積算講習会」も同様に、定員一杯で講習会会場の変更が必要になりそうでした。

この現象を考察しますと、建築関連各社さんが好況で、人材育成の必要性を感じてはいるが、社内教育までは、人手不足で手がまわらないので、当積算協会の講習会を活用されている結果ではないかと思われます。

そこで出来る限りそれにお答えすべく、ホームページでの講習会のご案内の充実と、講習会に参加される方が、本当に知り得たい内容・身に付く実技演習となる様な組立とした講習会をしていこうと、講習委員全員で取り組んでいます。

講師陣のレベルアップも目指しながら、次世代の講師の育成も本年度の課題としています。後半には毎年参加が少なく断念しています「建築コスト管理士試験対策講座」も、最低2名の参加があれば実施します。

コスト管理士の会員の皆様の中で是非、講師を引き受けても良いと思われる方は協会まで申し出てください。(まずは講習状況をご覧ください)

シニアの資格者の方々の活用も2年前から本部と一緒に推進しています。

若手を教育する事は、自分自身のボケ防止ともなり、益々新しい知識が身に付き、教養にも磨きがかかると思います。

また教育の一環として引き続き「ここが知りたい積算勉強会」も毎月1回実施しています。こちらでも、コスト管理士の方を講師に招く予定です。是非とも参加頂き、得意な分野でのご活躍をお願いします。

教育委員会だより

教育委員会

委員長 藤曲 充信

本年度より教育委員長の大役を仰せつかり、年甲斐もなく緊張しております。これから建築を志す学生の皆さん、並びに一般の方々のお役に立てる活動を考え、委員会の先頭に立つにはまだまだ力不足ですが、皆さんのお力をお借りしながら一生懸命に取り組む所存です。

本年度の本部教育委員会の活動方針は、

- ①建築積算テキスト及び試験問題の継続的改善
(評議委員会との連携)
- ②講師交流会による講義内容改善・資格登録者の増加
- ③新規講座開設校の開拓(学校訪問)
- ④建築積算士補合格者の資格取得の促進
(学校へのPR・各種割引制度)
- ⑤インターンシップ推進、試験優秀賞表彰促進
以上の5項目となります。

本年度の本部教育委員会の第一回目は、9月初旬の予定ですので、委員会の結果で若干の活動方針の変動はご容赦願います。

一点目は、東海北陸支部で現在実施している学校訪問と、新規講座開設校を開拓するための学校訪問に重点を置き、前任者と委員の皆さんのご協力を賜りながら、一年懸けて活動して参りたいと思います。

二点目は、建築積算士補試験の合格率の向上を目指すべく、講師交流会による講義内容の改善に取り組んで参りたいと思います。26年度の建築積算士補の合格率は、高校から大学・職業訓練校の全国平均が78%に対して、東海北陸支部の平均は81%です。中でも、特に工業高校の合格率が伸び悩んでいますので、講義内容も資格試験対策に重点をおいて、教育方法の改善を進めて参りたいと思います。

設計審査委員会だより

設計審査委員会

委員長 伊藤 健蔵

昨年から今年にかけて、某教育施設の発注元から受注元の見積りが妥当かどうかの審査依頼がありました。

おおまかな内容は、前もって発注元より依頼された某積算事務所が工事費査定（数量査定は別途）した内容について最終審査をするという内容です。設計・施工・積算と建築全般業種を会員に有する団体として、公の立場にある当協会ならではの依頼内容でもあり、存在感を示すべく有意義な審査となりました。

公益社団法人として中立な立場での審査ですので非常に難しい面もあり、なかには厳しい指摘をせざるを得ない部分もありました。しかし指摘根拠とするものは一般的に認識されているデータが必要であり、それがすぐ引き出せるソースがあるのもこの協会の強みでもあります。

工事費は正確な数量があつてこそ成り立ちますので、単価金額のみの審査ではなく数量の審査も同時に依頼していただくように報告書には書き添えました。

設計審査委員会は、平成13年度より岐阜県の社会福祉施設（特養等）の設計書審査から端を発して始まりました。当初は予算書とはとても呼べないような内訳書も少なくなかったと聞いています。近年は介護保険法改正による特定施設の総量規制などもあり新設数は頭打ちになりつつありますが、そういった長年の蓄積や実績によって設計審査委員会への依頼や問い合わせも幅広くなってきております。

そういった多様化する内容に対しても当協会の審査システム及び委員会メンバーの力量が十分発揮できるものと確信しております。

設計審査委員会は、官公庁・民間を問わず幅広く皆さまからの積算及びコストに関するお問い合わせをお待ちしております。

データベース委員会だより

データベース委員会

委員長 加藤 一也

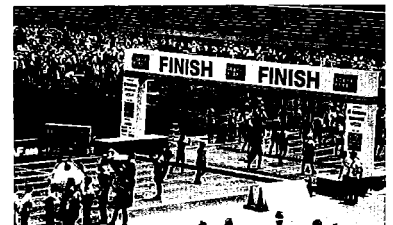
平成27年度がスタートしました。本年度は干支でいう未年です。12年前の2003年に起こった出来事、「冬のソナタ」による韓流ドラマブームの始まり、サラリーマンの医療費負担3割、ネット心中、ノンアルコールビール発売等です。

2015年の一番のニュースは海外に於いてはギリシャ経済の財政破綻、国内に於いては2020年のオリンピック開催、2019年W杯ラグビー開催のメイン競技場となる新国立競技場の建設費です。国際コンペにより、ザハ・ハディド氏のデザインが2012年11月に採用により建設費1300億と試算され、2013年9月に誘致が決定し2014年5月には規模を縮小して1625億で公表されましたが、今回計画見直しにより2620億に膨れ上がりました。確かに労務者不足、材料費の高騰により費用が嵩むのはわかりますが・・・2倍近くになるものなのか。

DB委員会は上記のコストの事も考慮して下記5項目を計画に掲げました。

1. データベースの情報整備及び拡充を図る
 2. 物価版に掲載されていない単価表の作成
 3. ここが知りたい積算勉強会のQ&Aを整備
 4. コストデータ表の利用促進を図る
 5. HP掲載のDB資料を活用出来るよう推進
- 2については会員の皆様方にアンケートを送付し協力をお願いしたいと考え、3については教育委員会と合同で活動を進めて行こうと思います。さて、DB委員会活動は健康が有っての事だと考え、月4回程度で10キロを走っています。

下の写真は2015年清流マラソンの模様



ホームページ委員会だより

ホームページ委員会
委員 小中 利文

みなさんこんにちは。梅雨も明けて夏本番ですね！普段は事務所で業務をしているのであまり暑さは感じませんが、外出時は生命の危機を感じるほどの暑さです。熱中症は怖いです。しっかり体調管理をして、夏バテなどに負けないように、水分補給と塩分補給をしましょう！良好な体調で正確な積算を！

先日、新卒者採用へ向けて会社説明会を行ったのですが、多数のエントリーがありました！が、来たのは数名と・・・ちょっと悲しくなりましたが、経験を糧に次回はエントリー通りに集まってもらえるように試行錯誤です！学生さんも自分の将来を左右する事なので、必死さがビシビシ伝わります。もっと積算という仕事の認知度を、インターンシップも良い機会ですが、ホームページを通じて幅広く上昇させる事が出来れば、業界全体の人口も上昇して活性化出来るのではないのでしょうか。

みなさんのお力をお借りしたいと思います！協会のホームページはご覧になっていますか？しばらく見ていないな・・・なんて方はすぐ見てみましょう！綺麗で見やすく分かりやすく！をモットーに日々改良しております。ぜひご覧になって、ここはもうちょっとこうじゃないか？等々みなさまのご意見をお聞かせ下さい。宜しくお願い致します。

創る側



(株)山下設計 中部支社
岩田 清逸

まずは、経歴と経緯を簡単に申し上げます。

(株)高輪建築事務所、(株) 碓谷建築積算事務所、岩田建築積算事務所を経て、現在は(株)山下設計で積算担当を務めております。気がつけば人生の半分以上を積算関連業務に携わってきました。デスクでひたすら数字を追いかける毎日が合っていたのか、特に疑問も持たずに現在まで来てしまいました。しかし今の上司に「もっと外へ出て勉強してきなさい」と諭され、頼るあてもなく以前お世話になった碓谷会長にお願いして、今回積算協会のお仕事に参加させていただくこととなった次第であります。

とはいえ、委員を飛ばしていきなりの役員任命には、一瞬「あの、順番違いませんか？」と思いましたが、碓谷会長の「ああもう決まったから、断っちゃだめだよ」の一言に、分け隔てないご厚意を感じまして、大変感謝しております。

現在は、主に協力事務所への積算依頼や各種概算業務を行っていますが、設計事務所の中に入り個人的に感じたギャップが2つあります。

1つは、皆が相当に忙しいこと（積算事務所が一番忙しいと思っていましたが、設計者も相当大変です）

もう1つは、脳の使う部分が違うこと。以前も資料の不足部分を想像しながら積算をしていましたが、0から新しいものを創造していく設計者の思考との違いを感じます。もし積算事務所がうまく動いてくれないと思われる設計の方は、腹を割って話す必要があるかもしれません。

協会では、創る側として励むことで、更にもその意識も勉強していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

自己紹介

(株)熊谷組名古屋支店 積算グループ
清原 猛嗣

このたび講習委員になりました熊谷組の清原と申します。よろしくお願ひします。

年齢ですが、昭和42年3月6日生まれの現在48歳です。九州は福岡県で生まれ、すぐに滋賀県に移り住み、高校までを過ごし、大学からは名古屋での生活となり、今年で在住29年目になりました。

平成2年に入社して名古屋に配属され、多少の異動等はありませんでしたが、ずっと名古屋支店の所属です。実は、積算業務に就いたのは、ここ3年です。それまでは現場で施工管理業務をしてきました。なので、まさかこうして積算協会で役員になるなんて、まったく予想もしていませんでした。

ただ、何かしらの縁はありまして、仕事で協会のお世話になる機会があり、そこで、小野先生が支部長をなさっているのを知りました。先生は大学の恩師です。研究室にもいました。大変お世話になりました。協会の講習会に参加したおり、声を掛けていただき、協会に顔を出させていただく機会があり、今回の役員に命じられました。



今、業界は大変な人手不足であり、積算も例外ではありません。今後、若い技術者が積算、しいては建築業に集まる為の協会の役割は、ますます重要である事は想像できます。

微力ですが、力になればと考えています。よろしくお願ひします。 以上

新広報委員となって

都築建築事務所
都築 修

新しく広報委員となりました都築です。宜しくお願ひ致します。

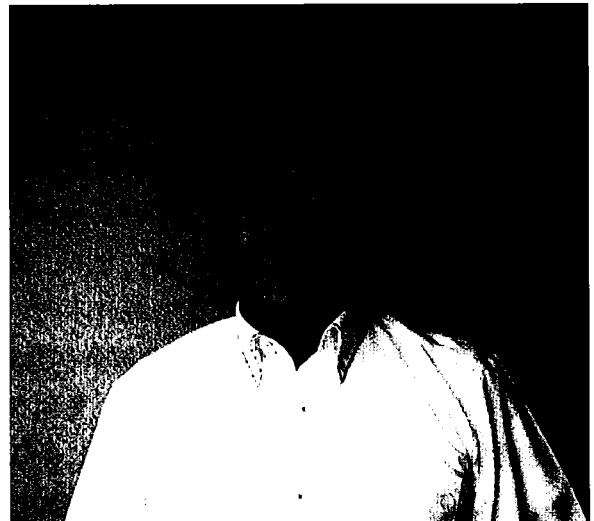
私は、昭和25年10月28日生まれで今年から高齢者の仲間に入れて頂きます。

青雲の志を抱いて設計事務所に入所して早いもので設計積算の仕事をして40年以上経ってしまいました。

今まで多くの人たちに助けられながら今日まで無事過ごす事が出来、感謝しております。

これからは仕事にも、広報委員にも、全てに全力で取り組んでいきたいと思ひます。

賞味期限はとうに過ぎましたが、使用期限まではまだまだ10年ぐらひはいけそうです。家ではうるさい女房と二人暮らし、子育ても終わり今は二人で孫の守りに大忙しです。生涯青春の気持ちで頑張っていきますので宜しくお願ひ致します。



声をかけて下さい

(株)円建築積算
松井 勉

昭和29年5月2日生まれ、甲午の61歳、
(株)円建築積算在職22年9ヶ月・・・口先だけで、
拾いの実務はまったく駄目です・・・

住所は日進市の折戸病院付近、通勤は自転車
(10分)で赤池駅、地下鉄で庄内緑地公園(35
分)、徒歩(5分)で会社です。

子供は4人、長女32歳を頭に女、女、長男
23歳(今年、なんとか就職しました。)

男が欲しくて頑張った訳ではなく、家族計画と
いう言葉を知らず、かしまし娘よりも若草物語が
いいかなぐらいの軽率なオヤジです。

孫は5人、女8歳(小学校2年)を先頭に男、男、
男、女0歳(6月11日生まれ)です。

好きなことは、体を動かすことぐらいしかあり
ません。ゴルフは毎週日曜日の朝、練習ではな
く運動にかよっています。1時間半打ち放題で
1200円、300球ぐらい打っています。時間
との戦いです。ですからスコアは100点を切
るぐらいで進歩がありません。やれアプローチ
が・・・バンカーが・・・パットが・・・と「た
られば」ばかりです。

健康状態はというと、高血圧、軽度肝機能障害
で薬のお世話になっています。今年の5月からは
睡眠時無呼吸症でCPAPのお世話になり、鼻に
マスクを装着して寝ています。よく眠れるとい
った自覚はあまりありませんが、睡眠時無呼吸は改
善されているといったデータがとれています。

夫唱婦随・・・偕老同穴・・・お前100ま
でわしゃ99まで・・・人生は山あり谷あり妻
があり・・・夫婦仲よく見えるのは好演技をも
とって頑張っているオヤジです。

興味をおもちの方は声をかけて下さい。
暗い話は聞きたくない方は無視しても気にしま
せんので・・・よろしくお願ひ致します。

積算業務報酬について



(株)押田建築設計事務所
取締役部長
堀田 富士雄

昭和30年生まれて、今
年還暦を迎えましたが、自
分ではまだまだ若輩者だと
思っています。この度、幹
事という重責を任じられましたが、会社での業
務もまだまだ自分でこなしていかなければなら
ない状況でもあり、少しは自分の時間を作って、
趣味の写真にも打ち込みたいという思いもあ
り、お断りしたいと思っていました。しかし、
日頃からお世話になっている北陸支所長 宮西
繁氏からの要請では、なかなかお断りも出来ず、
お受けすることとなりました。冒頭の通りまだ
まだ世間知らずですので諸先輩方皆様のご指導
を賜りますようお願い申し上げます。

話は替り、国土交通省の告示15号が交付さ
れ、今度の建築士法の改正でも告示の報酬基準
に基づく契約の努力義務が課せられました。建
築積算業務については、標準設計業務外の追加
業務として実施設計業務の15%となっていま
すが、世間の一般的な考え方では設計業務の一
部と捉えられがちです。弊社では、設計も専門
分化しつつあり、特に公共物件の積算業務は外
注に頼りつつあります。プロポーザルやコンペ
への参加も多く、受注そのものが厳しい環境の
中で、十分な設計報酬を得ることが難しい状況
でもあり、積算業務に対する報酬も必然的に厳
しい状況です。建築士・積算士の地位の向上と
合わせて、積算業務の重要性をもっと認知いた
だけるよう、そして少しでも報酬基準に近付
けられるよう、微力ながら頑張りたいと思っ
ています。

会長表彰をいただき

二葉積算本社
西田 彰

寝耳に水とはこのことでしょうか、表彰には縁遠い私には、盆と正月が一緒に来たような出来事でした。先ずは御礼申し上げます。ありがとうございました。記念品として液晶の置き時計をいただき、現在は東京のアジトで目覚まし時計として使わせていただいております。たいへん重宝していますが・・・定刻になると叩き起こされます。この時計、私には責具となりましたが・・・でも、どちらかと言えばこのところ快感をも覚える朝を迎えています。今でも表彰は何かの間違いだと思っています。いまさら表彰は間違いだだと言われても、記念品は返しません。(絶対に!!)

積算に囚われの身となり43年、よくも飽きずに続いたものだと、我ながら感心しております。入社当時、毎日同じ作業の繰り返しの中で、スランプに落ち込んでいました。そんな時、仕事先の日本電信電話公社の方が「私は、積算が大好きです。数値の中にロマンがあるからです。」と言われました。・・・目から鱗、鼻から牛乳です。積算の数値には、面積あたり、容積あたり等々、建物の形態に数値が関連付けられています。この言葉を聞いてからは、数値に対する見方が一変しました。その後、この建物の形態と数値の関連付けは、我社内において、建物の基本データを入れれば建築費が自動的に出てくる「西田式概算ソフト」となり、そして当支部における設計審査委員会のチェックシートの基にもなりました。

積算に携わる者の性(さが)でしょうか、実生活においても何故か「単位あたり」にこだわることになってしまいました。先日も飲みに行き、出てきた鮪の刺身を一生懸命m³換算していました。1m³あたり1200万円でした。早く6000万円/m³の大トロが食べられるようになりたいものです。

話は変わりますが、今年度から積算協会の会長に吉田倬郎氏が就任されました。「よしだたくろう」と言えば「吉田拓郎」です。

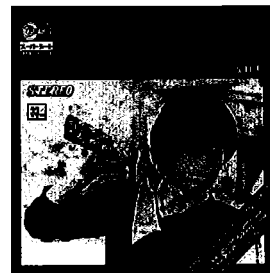
私が学校を卒業し積算業界に入った1972年、吉田拓郎がマイナー(エレクト)からメジャー(CBSソニー)に移り、吉田拓郎にも新たな門出の年でもありました。「結婚しようよ」「旅の宿」を出した年です。その2年前の1970年、ラジオから流れた吉田拓郎は、・・・まさにボブ・ディランでした。世の中は学生運動真っ只中(この前年に東大安田講堂事件)、体制批判の風潮の中で彼の歌に惹かれるものがありました。当時の吉田拓郎の主張は「俺」であって、関西フォークの岡林信康のように「私たち」ではありません。(作品例:私たちの望むものは) こんなところに吉田拓郎の凄さを見ました。

・・・(この右半分の列は、積算とは何の関係もないことをお断りしておきます。)

ここからが新会長・吉田倬郎氏から吉田拓郎につなげた私のたくらみです。

実は、吉田拓郎にまつわる心残りがあります。1970年7月～9月号「朝日ソノラマ」の吉田拓郎のソノシートをまとめたものが、10月に発売されました。当時「朝日ソノラマ」は、本屋で売っていましたが、当時の私には1200円は高価でしたので、買うことができませんでした。残念!!もし、どなたかお持ちの方、手放してもいいという方がいらっしゃったらご一報願います。

まだこれからも協会にお世話になります。あとしばらく、お付き合いのほど願います。



支部役員 10年

(株)NTTフジタ 東海支店
勝野 徹

★こんにちは。

■支部役員を10年経験したことで今回慰労表彰を受けました。誠にありがとうございます。10年前にも支部報に新人役員ということで投稿した記憶が蘇って来ました。確か、コスト・プライス、原価・価格 について今後10年間ではっきりさせるために積算業務を頑張っています・・・と述べた記憶があります。

価格-原価=利益 (プライス-コスト=プロフィット)

現在の心境について

■10年がたち昨年5月で60歳、定年を迎えました。その後1年間フジタ積算部にて再雇用での勤務。その間「61歳から65歳までの特別支給の老齢厚生年金」、「高年齢雇用継続給付金」等についても、勉強をしながら経験もしてきました。この1年間は60歳という年を取っていても、定年経験者、再雇用者の中では新人であり、いろいろな人、先輩に話を聞きながら対応してきました。それでも年金については2、3年で制度の変化があり自分の立場で考えていく必要があるなど感じました。さて今回、長年勤務させてもらったフジタを卒業し、別の会社に転職しました。転職時に考えたことを述べます。

1. 自分で起業するのは無理だろうか？
2. 健康保険証はどのように取得するのか？
3. フジタでの再雇用継続ではだめなのか？
4. 収入はどのくらいになるのだろうか？
5. 第2の人生どのように生きていくかを考えられるだろうか！
6. 今後本当に何をしたいのか？

以上のようなことを考え、一旦フジタを卒業し新しい環境を経験してみようと思いました。

第2の人生を新環境で走ってみたいという思いです。

今後のことを考えながら生きていく。

■フジタでの退職時の挨拶で述べたこと。

◆【変化に対応してください！また、自分で変化してください！】

強いもの、賢いものが生き残るのではなく、変化に対応できるものが生き残る。また、変化を待つのではなく、自分で変化をする、させていくというポジティブな考え方を持つ。

◆【仲間を作ってください！】

会社内の自分の部署・他部署・他支店の方。社外では、まず家庭内（特に配偶者）・地域の方、同業他社の方。

異業種の方（学校時代の友等）とのコミュニケーションの場を広げてください。

20代、30代、40代、50代でそれぞれの立場で実践してください。

最後の言葉として述べた2つの思い出。

◆ゼネコンの積算部としては、「営業部門からはコストが高いから競争に勝てない、工事部門からは数量・単価の不備がある」と指摘され本当に苦勞した時期もありました。しかし「積算部は、あの図面から良く適正なコストを出せていますね」という評価を受けた時には非常に前向きなれました。

【人を成長させる＝教育するのに褒めて育てるということは重要なことだと思います！】



支部長表彰を受けて

建築コストサポート

伊藤 健蔵

支部長表彰をいただきありがとうございます。

表彰を受けるまでまったく気づかず、もう10年も協会の役員をしていたのかと我ながら驚いています。表彰に値するような活動をしてきたかどうかは別として自分を見直す良い機会になりました。

役員となったきっかけは、今は亡き富士積算の佐藤さんが「協会の役員に推薦しといたから」という一言でした。あの佐藤さんに半ば強引に誘われ現在に至っております。

右も左もわからないまま設計審査、講習、ホームページ、教育と各委員会では普段めぐり会えないような多くの方々と知り合い、勉強し、口下手な自分を鍛える為、講習会の講師までさせていただき、今となってはかけがえのない財産となりました。

10年前はまだかろうじて40才台の若手？でしたが、今は還暦に手が届きそうな年齢になりました。協会の仕事はあくまでもボランティアで年齢が40～50代の方にとって自由な時間はなかなか作りにくい年代です。そんな中で20年、30年と東海北陸支部を引張ってこられた先輩方々には本当に頭が下がる思いです。

会社の組織で言えば、技術や伝統の伝承は大きな課題です。当協会でも若者の会員数減が問題となっていますがこれは建築業界全般にいえませう。

少子化で高齢化社会になりつつある現在、協会では学校教育にも力を入れるようになり、インターシップの受け入れも推奨しています。

そういった少しずつの積み重ねが大きな輪になることを期待しています。そして将来多くの若い人たちがこの業界を理解し、携わりたいと思えるように微力ながら今後も業界活動に力を注いでいこうと改めて感じる機会になりました。

支部長表彰を頂きました

(株)棟建築企画

和田 浩嗣

この度、27年度東海北陸支部定時総会において、支部長より10年表彰を頂きました。ありがとうございます。

私と協会の関わりは、上司の勧めより20数年前から講習委員会に所属し、支部の講習会(研修会)では支部役員になってからも幾度か講師をさせていただきました。質疑応答の際にはこんな考えもあるんだなと考えさせられる内容もいくつかあり、自分も改めて勉強させていただきました。受講者の方にはご理解していただけただけか？今でも気になっています。

この仕事に就きまして、当時はそろばんで寸法をはじき出し、計算機で計算・集計をし、内訳書は手書きでした。今やパソコン時代になり、手書きからOA化による時間短縮になりましたが、相変わらず時間に追われているのが現状です。

今後、BIMによる設計に移ろうとしています。

私ども積算事務所がどのように携わっていかれるかを考える時です。今までのコストデータ、チェックデータ及び経験を生かしながら。また、より多くの人に建築積算士、建築コスト管理士の取得が出来るよう、微力ではありますが協力をしたいと思います。



就業体験



名古屋市立工芸高等学校
建築システム科
2年 猪原 健太郎

私は職業体験として3日間株式会社劔谷建築積算事務所でお世話になりました。

まず私の積算のイメージは金額をだすだけの簡単なイメージでした。しかし3日間積算に触れてみてイメージが変わりました。今は積算がとても魅力的に感じます。

職業体験一日目は積算について説明して頂きました。午後はExcelを使って拾いという図面から数量をだす作業を実際に体験してみました。自分が想像していたより難しく終わらないまま初日を終わりました。

2日目には昨日行っていた拾いが完成しました。担当の方が丁寧に教えてくださったおかげで積算についての理解がより深まりました。そして積算の具体的なお話をして頂いたのが最初の簡単なイメージが大きく変わりました。積算は少しのミスが大きな損失となるのでシビアな職業であることを認識しました。簡単な拾いを体験しましたがとても難しく、いかに積算という仕事が大変で難しいか身をもって感じる事ができました。

最終日にはまた別の図面で拾いをしました。さらにわからない所がでてきましたがここでも担当の方に手伝って頂いたのが理解することができました。

3日間のインターンシップを終えて積算という仕事に魅力を感じられ、授業では学ばないことや新しい知識も得られたと思います。色々なお話を聞けたり社会勉強にもなりました。

株式会社劔谷建築積算事務所での3日間はとてもやさしい方々に恵まれて楽しかったです。お忙しいところ貴重な時間を割いていただきありがとうございます。

『知れば知るほど楽しくなります』



(株)縁 名古屋事務所
佐藤 珠美

積算という職業を知ったのは学生時代のときでした。その当時のことは

はっきりと覚えていないのですが、『設計や施工管理以外にも、建築関係の仕事がある。』といった感想でした。そして、実際に、積算という仕事をしてみて、率直な感想は、『積算という仕事は、何て細かい作業の積み重ねなのだろう。』といったものでした。

初めのうちは、図面に書いている言葉の意味もわからず、ただただ図面にあるものの数量を追いかける日々でした。図面に記載されているものだけでなく、図面に表現されていない部材の納まり上必要なものを覚えなくてはならず、大変でした。例えば、ALC版を拾うときに、工法の違い(横張であるか、縦張であるか)で金物の数量算出の見方も変わるため、初めはよく混乱していました。そういった、工法による拾い方が理解できるようになったのも、いつも、資料やカタログを使って、丁寧に教えてくださる上司や先輩方のおかげです。

縁に入社して、5年目になりますが、最近、徐々にではありますが、建築の納まりや図面表現の意味を理解できるようになり、『建築積算の奥深さや面白さ』を感じています。また、一度図面でみた材料を街中で見ると、『あの物件で描かれていたものはこれだったのか』という発見ができ、実際に見たことで嬉しくなります。

建築という仕事は毎日が勉強で、大変なこともあります。その分、知ることができて、この仕事が益々楽しくなってきます。

まだまだ、知識や技術的に未熟なことも多いですが、毎日少しずつでも成長していきたいです。

浜工高建築科の一年

静岡県立浜松工業高等学校

建築科長 豊田 浩一

【本校の建築科紹介】

本校は、大正4年浜松駅近くの馬込町に静岡県工業試験場浜松分場内に静岡県染織講習所として設置し授業を開始しました。昭和13年建築科設置。その後、北寺島町に移転。昭和39年、浜松駅から北に広がる三方原台地にある初生町へ移転。駅から約10kmに位置する所です。周辺には浜松医科大学や自衛隊浜松基地。また大企業ではホンダ・浜松ホトニクス・スズキなどの工場があり、古くから楽器・オートバイで知られた街です。

(生徒概況)

全日制8科29HR。

在籍数、全日制1197名。定時制127名。

(特色)

1915年創立の伝統校で、県下有数の広大な敷地に、整った施設や設備を配して確かな工業力を実践しています。3万人を越える卒業生は、産業界を中心に、政治・教育・芸術の分野でも活躍し、社会的な信用と高い評価を受けています。在校生は、それぞれの進路実現を目指して、勉学と部活動の両立、文武両道の精神を持ち励んでいます。就職に強い学校である上、進学にも強く定期テストの前には自習室を開き、進学のための講座も行っています。また、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定校であります。

【各科の紹介】

システム化学科：化学の基礎的な分析実験から、高度な分析機器を使用した実験を行っています。

デザイン科：ものづくりに必要なデッサンや製図、色彩、平面や立体構成ならびにコンピュータの技術や知識を学びます。

建築科：木造・鉄骨造・鉄筋コンクリート構造の基

礎を学び、製図・実習でより理解を深める。

土木科：道路や橋、公園、鉄道、港湾などの社会基盤を整備するための知識と技術を学びます。

機械科：機械加工の基礎ならびに機械設計の方法を製図や実習を通し体験重視で学習しています。

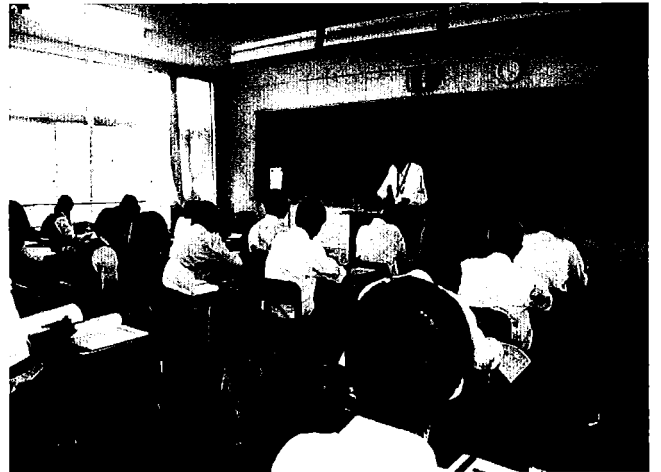
電気科：身近な家電からクリーンエネルギー・情報通信機器・交通運輸機関の動力、自動制御など、幅広く学習しています。

情報技術科：情報技術の主役であるコンピュータを関連する技術と共に総合的に学習している。

理数工学科：ものづくりの体験・分析・創造のスパイラル学習でエンジニアの基礎を作り出す理念をもとに学習しています。

【平成26年度の記録から】

【4月～7月】建築積算士補講義風景（3年生）

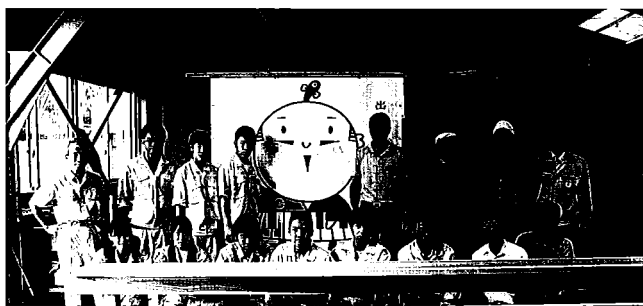


本校建築科は全国工業高校でも数少ない建築積算士補受験の講義を受けることができ学校です。教科「建築施工」の授業の一環として専門の講師が積算の基礎知識だけでなく社会人として大切な心構えも含めて教育して頂いています。

資格取得には興味を持っている生徒が年々多く、進路意識は非常に高いと感じています。

[5月] 浜松城天守門の床板加工 (建築研究部)

浜松城は徳川家康が29歳から17年間を生活していた城として知られています。2015年は家康没後400年にあたり浜松市でも様々なイベントが計画されています。現在は完成しましたが地元産の天竜杉を使い天守門の床板の加工を関係者の皆さんと一緒にさせて頂きました。



[6月] 現場見学 (3年生)

浜松建設業協会の協力を得て毎年、現場見学の機会を作っています。1年生は木造建築物の見学。2年生は建築の工業化として工場生産加工を見学。3年生は鉄骨又は鉄筋コンクリート構造物の見学で3年間を計画しています。



[7・8月] インターンシップ (2年生)

地元企業の協力を得て貴重な体験をさせて頂いています。今年度は7月下旬・8月中旬の2回に分けて64社89人を受け入れて頂くことになりました。科を問わず希望の会社に行き職場の雰囲気を感じる機会になるかと思えます。

[9月] 体育大会

毎年この日を楽しみに、HR毎にオリジナルTシャツを作り、思い出作りをしています。



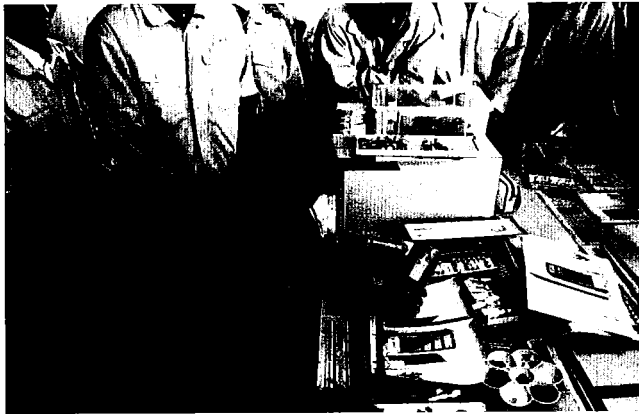
[10月] 浜工祭

3年生を中心に1・2年生の協力を得て様々な製作を行いました。2年生の木造住宅の自由設計の外観模型の展示は40棟が並ぶと実際の住宅団地に見えました。在校生の製図作品は同級生が見て参考になります。課題研究の製作物展示(コンペ作品・木造軸組等)。入り口から奥深くに描いた神社の絵は何とも言えない神秘的な空間を演出した。一生懸命協力した結果、全校から表彰され最優秀賞を頂きました。





[11月] 外部講師によるパース着彩指導
講師は本校卒業生です。デザインの専門家です。着彩の技法を指導して頂いています。

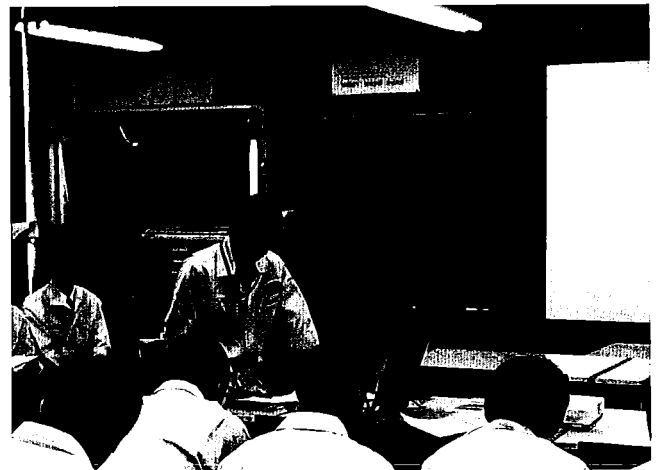


[11月] 静岡県建築士会との交流会 (2年生)
浜松市内の建築士の方々、約10名近くが来校し講義並びに約10グループに別れたディスカッションをして設計の世界を身近に感じる時間を取っている。



[12月]
浜松建設業協会との懇談会 (2年生)
浜松市内の建設会社に勤める本校卒業生が携わっている工事現場を監督として工事の様子を詳細

に説明してもらっています。



キャリア教育 (1年生)
卒業生に来校して頂き建築の仕事の、やりがいについてや、大変さなどの話をして頂いています。



[1月] プレカット工場見学 (2年生)
建築の工場生産の現場を見学。



趣味（旅行）と仕事

(株)鈴木一級建築士事務所
取締役 鈴木 保二

平成22年3月に積算士の合格通知をいただき日本建築積算協会に登録、東海北陸支部の中で活動を行ってきて、はや5年が経過しました。

富山県他の積算士の方々との交流も増えいろいろな活動にも少しずつ参加させてもらっています。

私の少ない趣味の一つに旅行があります。今年も、大阪・奈良・京都・神奈川・北海道・大分・能登と出かけている。

一緒に行くのが家族であったり、友達とであったり、気ままに一人旅を楽しむことも少なくない。いまだに独身であるのも、気楽な性分のせいかもしれない。

大学に入学してから日本全国を旅行し47歳の昨年で47都道府県を制覇した（偶然にも47という数字が一致した）。と言っても一都市だけに行っただけというところも少なくない。

建築を仕事にしていながら、建物を見るのがメインではないところには自分でも少し情けなさを感じることもある。（少しは見るようになってはきてはいるが）

では何をしているのか。

一番は、食べることです。特に一人旅では一日4～5食という事が少なくない。大学時代60kgなかった体重も最大77kgまでいってしまった。年のせいもあり最近体重も落ちてきて（特別なダイエットはしていない）今では71kgと少しは減ったが。

全国にはおいしいものが本当にたくさんある。ラーメンもその一つだ。喜多方ラーメンが一番好きである。ちぢれ太麺で醤油ベース（味噌もあるが）大学時代本当によく通った。郡山に住んでいたのが喜多方まではそれほど遠くはなかった。

最近はどこに行ってもおいしいラーメンがあるが。こってり系が食べれなくなってきた。

胃にもたれるのだ。年はとりたくないな～とつくづく思う。

二番目は温泉です。

最近は一週間ほど会社を休んで「湯治にいきたくないな～」なんて妄想を膨らましてはいるが実現はしそうにない。

温泉もいろいろある。景色やその温泉宿の雰囲気も含め楽しんでいる。最近行った大分県別府市では本当にたくさんの温泉がある。通勤で大分に来た人が「帰りたくない」というのもうなずける。砂風呂も好きなお風呂の一つです。砂を通してじんわりと温かさが伝わってきて次第に汗がにじんでくる。海岸にあり波の音や潮風も、心地いい。

三番目は、観光地（観光施設）巡りです。古い建物、お城や武家屋敷、〇〇家などはほぼ必ず見てまわっている。富山県内はいつでも行けるとの思いから行っていないところも多い。

最近仕事で黒部市のトイレを設計監理した。「北陸の銀閣寺」と称される松桜閣という元私邸の敷地に隣接した場所です。この松桜閣も行っていなかった場所の一つです。新幹線開業で脚光をあび観光客も例年の2倍以上となった。

積算士という仕事も、一般の人にはあまり認知されていない職種であるが、建築士以上に建物の事をわかっていないとできない仕事であると思う。これからもいろいろな建物を見て歩き、ただ計算をして結果を出すという事ではなく、建物ができていく過程（仮設→躯体→仕上げ）を想像しながら仕事をしていきたいと思っている。

趣味（旅行）も仕事も、好きであることを妥協することなくこれからも行っていきたい。

それには健康管理に今まで以上に気を配らなければと思う今日この頃です。

東京から その9

支部会員 西田 彰

大阪の3大名物といえば「たこ焼き・お好み焼き・串カツ」をイメージしますが、先日あるテレビの番組で「大阪人はあまり串カツを食べない」という話をしていました。次の週、大阪出張があったので社員に聞いてみたら、やはり食べないそうです。(以下、社員の話・・・)

もともと串カツは、ある地区の日雇労働者の立飲み屋で出されていたようで、近くには遊郭もあり少々怖いところなので普通の人は立ち寄りなかつたそうです。その地区の近くにある新世界(通天閣)が、国営放送の朝の連続テレビ小説の舞台になり、多くの人が集まるようになりました。放送終了後、このブームを何とかせなあかんやないかと、地元の商店主は新世界でも名物であった串カツをまつりあげました。そして全国的に大阪名物として定着したそうです。

話は東京です。東京のスーパーには串カツが見当たりません。焼鳥以外、串物がありません。スーパーの店長のコメント「東京は物騒なところで、串は武器になるので危機管理のために串カツは置いてありません。」とのこと。先日のニュースです。「スーパーで串カツを武器に、買い物客を人質に立て籠り事件Ⅱ」があったと思います。

新宿駅西口のガード脇に戦後から続く「思い出横丁」という立ち飲み屋が密集する地域があります。どの店も串物を扱う店ばかりです。極めて危険な地帯で、スーパーの店長の談話どころではありません。先日も、些細な客と客との喧嘩が横丁全体に広がり、酔っ払った客が、焼鳥串隊とホルモン串隊とおでん串隊に別れて、串を片手に血で血を洗う・・・いや、タレでタレを洗う抗争に発展しました。ということで、東京では「串文化」が発達しなかったのではないかと思います。

(文章の一部に虚構がありましたことをお詫びいたします。)

東京から その10

支部会員 西田 彰

麩(ふ)のお話です。

東京には「竹輪麩(ちくわぶ)」なるものがあります。こちらに来て初めて食べました。

「竹輪麩」は、小麦粉に水と塩を加えて練り型に入れて茹でたものです。原材料名には小麦粉と書いてあります。小麦粉だけです。ただの小麦粉の塊です。竹輪を少し大きくした形ですが、断面は竹輪というより歯車です。製法から考えれば「うどん」も「すいとん」もこの仲間ではないかと思えます。なぜ「麩」と言うのでしょうか？

これに対して名古屋には「角麩(かくふ)」なるものがあります。その存在は、名古屋周辺のみで知られています。小麦粉に塩を入れて練り、水にさらしてグルテンを取り出します。そのグルテンに小麦粉を加え板状にして蒸したものです。原材料名は、グルテン・小麦粉となっていますから、小麦粉よりグルテンの量が多いということです。厚さ1センチほどで、葉書を少し大きくしたサイズです。ちなみにグルテンを焼いたのが「焼麩」。もち米を加えて蒸したり茹でたりしたものが「生麩」です。(製造法はWikipediaより)

角麩の分布は、東は浜名湖で止まり、西の京都・石川では生麩となり、大阪では大阪府・・・京都も府です。(まともに考えないください)

愛知のアジトにいる時には、年に何度食べるのか・・・というほどでしたが、こちらに来てからは故郷の味恋しく、名古屋産の純度の高い「角麩」をポリタンクの底にしにばせ、新幹線にこっそりと持ち込んでいます。そのうちに、きっと捕まります。東京の警察官は角麩を見て、新種の危ない物だと思い即逮捕!

その後の取調べで食べ物だと判明、誤認逮捕です。国営放送夜7時のニュースで「角麩で誤認逮捕」と取り上げられ、10時からの報道ステーションでも「警察の無知が誤認逮捕を」。これで「角麩」が全国に知られることとなります。めでたし。めでたし。

CPD制度の案内 特に建築コスト管理士の皆様へ

東海北陸支部 佐野 洋治

まず、●建築コスト管理士で、平成 28 年 3 月資格更新の方へ

5 年間の必要単位数 =

(平成 24 年 3 月 31 日迄の 1 年間 × 50 単位) + (平成 24 年 4 月 1 日以降の 4 年間 × 16 単位)

A. 単位は 5 年間で、旧制度 1 年間 50 単位。 新制度 4 年間 × 16 単位 = 32 単位

B. 研修年月日は下記の年度ごとの登録となります。

旧制度 年間 50 単位 2011 年 4 月 1 日から 2012 年 3 月 31 日

新制度 年間 16 単位 2012 年 4 月 1 日から 2013 年 3 月 31 日

年間 16 単位 2013 年 4 月 1 日から 2014 年 3 月 31 日

年間 16 単位 2014 年 4 月 1 日から 2015 年 3 月 31 日

年間 16 単位 2015 年 4 月 1 日から 2016 年 3 月 31 日

C. 単位登録の方法について

旧制度 支部報 54 号 11 ページ 読めばできる、CPD 登録の簡単な方法

新制度 支部報 61 号 28・29 ページ CPD 単位取得について

次に、●支部での支援サービスについて

A. 登録・申請方法の詳細説明を必要な方。

B. ホームページからの登録・申請がうまくいかない方。

C. 登録申請が面倒だと思っている方。

D. 単位不足の方（単位不足だから更新を先送りにしようとしている方）

早めに支部宛に、気楽に電話・FAX・メール等で連絡ください。

本来の CPD 制度の目的である、●積算技術者の技術的水準及び資質の維持・向上を図るため。

①積算協会、建築士会の講習会の参加。②自治体・官庁を含む他団体の現場見学会の参加。

③建築関連雑誌の講読。④講演会・シンポジウムへの参加。⑤専門図書の購読

上記を普段から積極的に進めましょう。

・・・・・・ CPD 等迷ったら支部に連絡を・・・・・・

北陸部会（富山・石川・福井）

明峰積算事務所

代表 宮西 繁

北陸部会は設立から今年で13回目を迎えます。平成15年に設立総会を石川県と金沢市の土木建築関連の関係者、東海北陸支部からも杉浦支部長を来賓にお迎えして30名でスタートしました。当時の建築積算士は受験資格が実務経験10年以上の枠内で平均年齢も50歳を超えていました。それぞれが高度な知識を持ったリーダー的な技術者の集団であったことも北陸部会が設立できた要因とも考えています。

設立当時の正会員は総数34名でしたが、平成27年度6月現在で、北陸部会への会員さんから連絡のあった正会員数は、総数98名、（富山29名、石川50名、福井19名）となりました。

スタート時の皆さんは、建築積算士の称号を取得して、所属事務所でも希望に燃えていて、積算技術の開発には創意工夫していることを飲んで食べておおいに話し合いをしました。

また、日積協の解説集を使つての内訳書標準書式の記載例と計算過程での数字の扱い方、明細書への数字の記入方法の支部の講習会に参加して、電卓が主流の時代に、計算機での丸め方、理解しやすい計算書シートや集計表の作成方法、そして明細書の書式の統一などを北陸でもすすめていけると、ノウハウ編を学んでもらおうと小さな勉強会を始めるきっかけになったと思います。

各々で正しいと信じて研鑽してきた独自の見積積算の手法を改善する指針にもなりました。

平成27年度も地域委員会の活動として、第13回北陸部会の定時総会を来る7月23日（木）に午後6時から開催します。東海北陸支部の地域部会としての発起人の塚田さん（現 石川県建築士会専務理事）、笠谷さん、（有）富山積算センター 代表取締役）須曾さん（元 二葉積算金沢支所 支所長）、初代の委員さんたちのご尽力を感謝して報告にペンをおきます。

静岡部会（暑いですねえ～）

（株）アイピーエス

長山 充裕

いやー、今年も昨年以上に暑い日が続くそうですね。天気予報を見てみると、何でもエルニーニョ現象が衰えず、秋も暑い日が多くなりそうとの事で、一体どうなっているんでしょう？

さて、すでに昨年以上に暑い日が多くなってきていますが、みなさんはどうしていますか？当然のことながら、エアコンを使用している方も多いと思いますが、実は私自身がエアコンを好きではないので、自宅では扇風機+うちわで頑張っていますが、ここまで暑くなると熱中症が怖いのでど～しようかと考えてしまいます。やっぱり、エアコン入れた方がいいのかなあ～？ ちなみに水分補給はこまめにしているのですが、会社でも自宅でも基本的に熱いものを飲んでます。それも熱い緑茶がメイン。え？なぜかって？ そりゃ冷たいものばかりではバテてしまうからでしょ？でも、自宅では冷たいビールを思いっきり飲んでたしりて（意味ないじゃん！！）。

しかし、エアコンも使い方に注意しないと大変だよ～。冷やし過ぎると体調を崩したりしてしまうし、体の新陳代謝が悪くなったりするし。なので、会社などではエアコンが効きすぎている時は上に1枚やはり着る様にしています（汗はかくけど）。着ていないと、外にでた時に体が芯まで冷え込んでしまっているのを実感します。そんな時は、やはりお風呂で温まるのが一番（出た時には汗がだあ～だあ～だけ）。

まだまだ、これから暑い日が続くんだけど、熱中症に気を付けながら、やっぱりエアコンなしでがんばろうと思うこの頃です。みなさんもあんまり冷たいものばかり（特にビールなど）飲み過ぎずに文明の利器をうまく使ってこの暑い日々をがんばって乗り切っていきましょう。

暑中お見舞い申し上げます



公益社団法人
日本建築積算協会 東海北陸支部

本部理事
支部長 小野 徹郎

事務局 〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目3-26 昭和ビル2階
☎ (052)264-0661 FAX(052)264-0662
E-mail toukaihokuriku@bsij.or.jp
URL http://bsi-th.052e.com/

IPS

代表取締役

内田 宏康

株式会社 アイピーエス

本 社 〒435-0036 静岡県浜松市津瀬町1000の3 TEL.053-461-8866 FAX.053-461-8854
東京営業所 〒133-0056 東京都江戸川区南小岩5-6-14 TEL.03-5694-0636 FAX.03-5694-2415
IPS E-mail : ips@inh.co.jp
公益社団法人 日本建築積算協会 東海北陸支部 講習会委員
公益社団法人 日本建築積算協会 東海北陸支部 事務所部会長



株式会社 浦野設計

URANO ARCHITECTS & ENGINEERS



代表取締役社長

浦野 廣高

技術士(建設部門)

名古屋本社 〒452-0815 名古屋市区西八筋町90番地
TEL.052-503-1211 FAX.052-505-2712
URL http://www.urano-s.co.jp/
E-mail:h-urano@urano-s.co.jp
東京本社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-3-12
TEL.03-3811-9128 FAX.03-3811-9582

再生紙使用



建築・積算・見積

有限会社 エスム積算

(社)日本建築積算協会会員

会 長 松 岡 重 幸

本 社 〒503-0944
岐阜県大垣市横曾根4丁目13番地
TEL <0584> 89-2550・FAX <0584> 89-7841
E-mail esumu@sannet.ne.jp
東京事務所 〒105-0014
東京都港区芝1丁目13番16号・NBC芝橋ビル4階
TEL <03> 3452-7164



Enishi C.M. Office

おかげさまで20周年

えにし
株式会社 縁
一級建築士事務所

名古屋事務所 所長

古川 元

FURUKAWA GEN
建築積算士

〒460-0003 名古屋市中区錦2丁目2番22号 名古屋センタービル別館
TEL 052-218-2062 FAX 052-218-2063
携帯 080-8370-6474
E-mail:g-furukawa@enishi-cm.co.jp
URL:http://www.enishi-cm.co.jp/



株式会社 えん 建築積算

代表取締役 廣 瀬 稔

MINORU HIROSE

一級建築士・建築積算士・宅地建物取引主任者

〒452-0805 名古屋市区西市場木町32
ITO BLD 2階
TEL 052(503)0366
FAX 052(503)0663
URL http://www.ennsekisan.gol.com



創業67周年

川辺建設株式会社

川辺一級建築士事務所

本 社 名古屋市北区清水二丁目4番10号(川辺ビル)
〒462-0844 TEL<052>931-0181
FAX<052>931-0187

e-mail kawabe-k@gld.mmtr.or.jp

URL http://www.gld.mmtr.or.jp/~kawabe-k

代表取締役社長

川辺 清次

一級建築士、設備設計 一級建築士
一級建築施工管理技士、宅建取引主任

古紙100%再生紙



国豊積算株式会社

専務取締役 箱崎一夫

〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田3-14-24 国豊ビル

TEL 052-332-0280 FAX 052-332-0945

支所: 東京・大阪・福岡・札幌

URL http://www.kunitoyo-sekisan.com

暑中お見舞い申し上げます

— お客様の「苦」を「楽」に変える —



有限会社
建築 見積センター

代表取締役 **潮田 春生**
(建築コスト管理士)

〒514-0811
三重県津市阿漕町津興280-43
TEL <059> 229-7251
FAX <059> 229-7252
<http://www.mitsumori-center.co.jp/>

株式会社 **研谷建築積算事務所**

代表取締役社長 **とぎや 研谷 智彦**
代表取締役社長 **研谷 将紀**

名古屋本社 〒466-0841 名古屋市昭和区広路本町 6-11-2
TEL <052> 859-0686
FAX <052> 859-0687
静岡事務所 〒413-0102 静岡県熱海市下多賀 45-5
TEL <0557> 68-5842
FAX <0557> 68-5844



株式会社 **中野積算**

名古屋支社

支社長 **位田 勝彦**

KATSUHIKO INDEN

建築コスト管理士 公益社団法人 日本建築積算協会会員

名古屋 〒450-0002 名古屋市中村区名駅五丁目 29-10 錦通 KDC'k
支社 TEL 052 (856) 6961 FAX 052 (856) 6960
E-mail : k-inden@nakano-sekisan.co.jp
本社 〒167-0051 東京都杉並区荻窪 5-13-7 TEL 03 (3392) 6121
支社 大阪・名古屋・仙台・札幌・新潟

株式会社 **林積算**

代表取締役 **林 進**

〒460-0008 名古屋市中区栄五丁目26番39号 GS栄ビル6階
TEL 052-262-3781
FAX 052-262-3783
E-mail susumu.hayashi@hayashi-sekisan.co.jp



コストエンジニアリング&コンサルタント

株式会社 **二葉積算**
名古屋支社

取締役支社長

中川 英人

NAKAGAWA HIDETO 建築積算士・建築コスト管理士

〒460-0003
愛知県名古屋市中区錦2-17-30(河越ビル)
TEL 052-231-8336(代表) FAX 052-231-8669
E-mail nakagawa@futaba-sekisan.co.jp
URL <http://www.futaba-sekisan.co.jp>
本社/東京 支社/東京・名古屋・大阪・広島・福岡・札幌



株式会社 **棟 MUNE 建築企画**

代表取締役 **鳥居 哲夫**
取締役 **和田 浩嗣**
取締役 **中島 達司**
取締役 **服部 欽守**

〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-6-1 日誠丸の内ビル3階
TEL : 052-602-9525 特 FAX : 052-602-9526
E-mail : aamuneco@mve.biglobe.ne.jp 特
URL : <http://www.mune-kenchiku.co.jp>

株式会社 **伊藤建築設計事務所**


代表取締役社長 **小田 義彦**

取締役 **渡邊 國雄**

本社・名古屋事務所 名古屋市中区丸の内1-15-15 (桜通ビル)
東京事務所 東京都千代田区外神田3-5-12 (聖公会神田ビル)
<http://www.ito-aei.co.jp>

暑中お見舞い申し上げます

BIM対応 建築積算システム FKS	見積書作成システム KYOEI COMPASS
リニューアル用積算ソフト RSS	国土交通省ガイドライン準拠 長期修繕計画表作成ソフト KLC
KYOEI 協栄産業株式会社 ソリューション第二事業部 営業部 〒143-6565 東京都大田区平和島6-1-1 TRCアネックスビル 【TEL】03-3767-2312 【FAX】03-3767-2318 【E-mail】 fks@kyoel.co.jp 【URL】 http://www.kyoel.co.jp/fks	

	TOMOデータサービス株式会社
代表取締役 今岡 朝 和	
本社 〒531-0041 大阪市北区天神橋7丁目5-23 渋谷ビル TEL (06)6351-8452 FAX (06)6351-8925 E-mail : imaoka@tomodata.co.jp http://www.tomodata.co.jp	
東京事務所 〒110-0015 東京都台東区東上野3丁目14-7 龍田ビル TEL (03)5816-7080 FAX (03)5816-7081	

◆ 北陸部会から 暑中お見舞い申し上げます ◆

地区	会社名	役職	氏名	TEL
富山地区	(株)小倉建築設計事務所	所長	小倉 修	0765-54-1616
	(株)押田建築設計事務所	取締役部長	堀田 富士雄	076-492-1225
	(株)鈴木一級建築士事務所	取締役	鈴木 保二	076-421-9118
	(株)三四五建築研究所	取締役	諏訪 淳	076-433-0345
	明峰積算事務所	代表	宮西 繁	076-425-7330
	(有)富山積算センター	代表取締役	笠谷 正	0766-22-3366
石川地区	(有)高島建築積算事務所	所長	高島 義昭	0762-33-1330
			三原田 辰男	076-425-7330
	(有)クボタ積算室	代表取締役	窪田 和則	076-239-3471
	大谷建築積算事務所	代表	大谷 政信	076-225-3927
	RSアーキー一級建築士事務所	所長	四辻 靖信	076-248-8123
	ヤマニシ建積プランニング	代表	山西 栄一	0761-44-2844
福井地区	(一財)福井県建築住宅センター	構造判定課主任	松平 久芳	0776-29-2330
	積算川畑 フジ建築設備	代表	川畑 隆夫	0776-25-1067

平成
27年版

公共建築工事積算基準

◎監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部 ◎編集・発行/(一財)建築コスト管理システム研究所
定価8,964円(税込)

標準単価積算基準の改定! 参考歩掛りの改定並びに最新通達も収録!

改訂版

-公共建築工事積算基準に基づく- 公共建築改修工事の積算マニュアル

◎監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部 ◎編集・発行/(一財)建築コスト管理システム研究所 定価5,940円(税込)

積算内容や注意事項及び適用について具体的に解説!

公共建築設備改修工事の積算マニュアル

◎編集・発行/(一財)建築コスト管理システム研究所 定価7,128円(税込)

改修工事(電気設備・機械設備)について定めた規定等を分かりやすく解説!

改訂
5版

鉄骨の積算入門

◎著/はまだかんじ・松本伊三男 定価5,940円(税込)

鉄骨の積算用語の解説を新たに掲載! 13年ぶりに改訂!

平成
23年版

建築数量積算基準・同解説

◎編集/(一財)建築コスト管理システム研究所、(一社)日本建築積算協会
◎発行/(一財)建築コスト管理システム研究所 定価4,320円(税込)

建築工事の公式な契約の基盤となる必携の書です。

基本を学ぶ 建築法規

-建築基準法・関連法令の基本事項を学ぶ-

◎編著/町田修二 定価4,536円(税込)

基本的なルールである建築法規(建築基準法および関連法規)について、
初学者にも分かりやすいよう、体系的に図解や事例等を使って丁寧に解説!



株式会社 大成出版社

<http://www.taisei-shuppan.co.jp/>

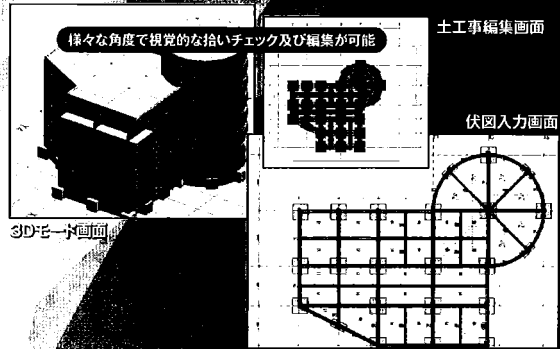
TEL:03-3321-4131 FAX:03-3325-1888
〒154-0042 東京都世田谷区羽根木 1-7-11

進化し続ける建築積算・見積システム

RC数量積算システム **FKS RC** BIMデータに対応!

拾い時間の短縮・省力化を実現!
BIMデータの入力機能も搭載!

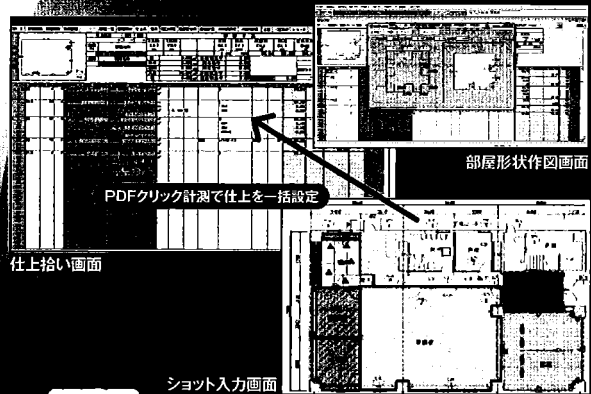
- 3D機能を強化、複数棟対応や自動増打機能も搭載
- 伏図配置はワンクリックで簡単配置、偏芯情報は自動補正機能を搭載
- 3D、軸組図より建具や増打、スリットなどを視覚的に確認、編集が可能
- 構造スリット、カットオフ、型枠種別など、詳細な設定が可能
- PC工法(フル、ハーフ)に対応し、工場、現場数量を自動集計
- セットバックや壁式構造にも対応、鉄筋の定尺集計も可能
- 土工事は、根切り、ラップル、地業、空m3、山留他の積算が可能、杭工事にも対応
- 設計CADデータを積算データへ直接取り込み(オプション)
- BIMツール連携用 IFCファイルの入力機能搭載



仕上数量積算システム **FKS FN** BIMデータに対応!

部屋形状作図と図面データ取込機能で
積算時間を大幅削減
BIMデータの入力機能も搭載!

- 部屋形状作図機能を強化(柱の中抜きが可能)
- 図面ショット機能により複雑な部屋形状に対応
- PDFやCADデータを取り込み、面積、長さ、箇所の計測が可能
- 手拾い感覚の詳細な入力で、明快な根拠での拾い書出力が可能
- 仕上一覧表機能により部屋自動作成を実現
- 部位別、科目別の集計画面から直接拾いデータの編集が可能
- 建具積算も標準で装備し、壁、巾木から面積、長さを自動計算
- 科目別、部分別、部屋別、タイプ別、区分別など多彩な集計が可能
- 設計変更前後の数量差分印刷機能で変更資料作成をサポート
- BIMツール連携用IFCファイルの入力機能搭載
- CI-NET 建築積算メッセージファイルの入出力機能搭載
(建設業振興基金 制定 建築積算の標準交換データ)



見積書作成システム **KYOEI COMPASS**

優れた操作性と豊富な機能で見積業務が
大幅に効率アップ

- 数量、単価、総額固定(ランダム割増機能を搭載)などの各種シミュレーション機能によりコスト調整を容易に実現
- 複数棟や部分別などの見積物件にて、別階層(別フロア)の同じ明細の一括値入が可能
- 見積比較機能を搭載し、5業者査定が可能
- 値入は他物件単価セット機能で一括セット
- 付箋機能により、自印を付けた行を他の見積りにコピー
- 単価ゼロの明細抽出などの便利なツールが満載
- Excelとの入出力機能、RIBICから出力し、Excelで編集
- 様々なインターフェース(印刷)が用意
- 見積書式の行数や項目を任意で変更可能
- 市販単価データベース(国土院、国土院、国土院)の活用



公共営繕工事専用 見積書作成支援システム **みつもりくんie** 開発元 株式会社コンプケア

設備業向け積算見積システム **みつもりくんPRO-SecondStage** 開発元 株式会社コンプケア

積算といえば **協栄産業** におまかせください!
<http://www.kyoei.co.jp/fks>

インターネットで
積算 FKS 検索
「積算 FKS」で検索してください

クリック!

エレクトロニクス分野を通して
夢とゆとりのある社会の実現に貢献します。
KYOEI 協栄産業株式会社 ソリューション第二事業部 営業部
Email fks@kyoei.co.jp URL <http://www.kyoei.co.jp/fks>

【東京】〒143-6565 東京都大田区平和島6-1-1 TRCアネックスビル
TEL 03-3767-2312 FAX 03-3767-2318

【大阪】〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島3-14-24 阪神ダイヤビルディング
TEL 06-6451-9781 FAX 06-6451-9810

協栄産業株式会社 会社概要

【会社名】 協栄産業株式会社 (Kyoei Sangyo Co., Ltd.)
【本社所在地】 〒150-8585 東京都渋谷区松涛2-20-4
【創立年月日】 1947(昭和22)年10月6日
【資本金】 31億6,181万円(2014年3月31日現在)
【従業員数】 1,173名(協栄産業グループ合計)
【株式上市】 東京証券取引所 市場第1部「商業」
【関連団体】 公益社団法人 日本建築積算協会
一般社団法人 日本建築積算事務所協会
一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会
一般財団法人 建設業振興基金 (CI-NET)
一般社団法人 IAI日本

ゴルフコンペ 積和会

林 進

5月24日、日曜日、三重県いなべ市のスリーレイクスカントリークラブにて開催しました。

10時7分スタートで50分前に受付に行くと、積和会受付名簿がありませんでした。尋ねてみると「皆様お揃いです」との返事でした。早めにいったつもりが一番遅い到着でした。

例年はハンデ競技でしたが10年ぶりで初参加の方も多くダブルペリアにしました。

3組12名の皆さんです。

1組 山田治、硯谷将紀、後藤学、林進

2組 硯谷智彦、森義則、加藤一也、伊藤健蔵

3組 桑名利男、古川元、勝野徹、道家保義

優勝は桑名利男さん グロス93、ネット73.8、準優勝古川元さん、3位道家保義さん、平均スコアは108点でした。天気予報は雨でしたが当日は晴れてコンディションは良かったのですが・・・



今回は10月ごろに開催したいと思っております。会員の皆様のご参加をお待ちしております。

編集後記

コンペの設定予算から倍増することなど通常考えられない、かの新国立競技場の計画も政治判断で白紙撤回、見直しとなりました。今後の行方が気になるところです。

さて、日本建築積算協会東海北陸支部は、平成27年度に役員改選が行われ新たな仲間も加わったスタートとなりました。

支部報の内容も少しずつではありますが新たな企画を盛り込もうと、まずは積算教育に熱心に取り組んでおられる学校をご紹介することにしました。次号からも継続してなるべく多くの学校をご紹介したいと思っています。

毎日うだるような暑さにいささかバテ気味の皆さん、東海北陸支部の周辺では、いつも積算協会?の会員さんに良く似た人たちが、キンキンに冷えた生ビールを求めてさまよっていますよ。興味のある方は是非一度、東海北陸支部まで足を運んでみてください。

広報委員	堀田 淳二	長山 充裕
	加藤 一也	桑名 利男
	後藤 学	高嶋 義昭
	都築 修	

支部報 「東海北陸」 No.63

発行 公益社団法人 日本建築積算協会
東海北陸支部

名古屋市中区栄町四丁目3-26
昭和ビル 2階

☎ (052) 264-0661 (代)

FAX (052) 264-0662

URL <http://www.bsij-tokaihokuriku.com/>

発行日 2015年8月 吉日

積算業務の効率化に貢献する

TDS Application Series

出荷本数 9000 本以上の実績！明細書作成の超決定版！

Multiple screenshots of the TDS software interface showing detailed spreadsheets for material and labor cost estimation. The spreadsheets contain columns for item name, quantity, unit, and cost, with various data entries.

お客様のご要望にお応えした、超簡単仕上拾いのソフト！

TDS [仕上]

Screenshot of the TDS software showing a detailed material list and labor list. The material list includes columns for item name, quantity, unit, and cost. The labor list includes columns for item name, quantity, unit, and cost.

品名	数量	単位	単価	合計
1 下地鉄筋	100.00	kg	100.00	10000.00
2 下地鉄筋	100.00	kg	100.00	10000.00
3 下地鉄筋	100.00	kg	100.00	10000.00
4 下地鉄筋	100.00	kg	100.00	10000.00
5 下地鉄筋	100.00	kg	100.00	10000.00
6 下地鉄筋	100.00	kg	100.00	10000.00
7 下地鉄筋	100.00	kg	100.00	10000.00
8 下地鉄筋	100.00	kg	100.00	10000.00
9 下地鉄筋	100.00	kg	100.00	10000.00
10 下地鉄筋	100.00	kg	100.00	10000.00
11 下地鉄筋	100.00	kg	100.00	10000.00
12 下地鉄筋	100.00	kg	100.00	10000.00
13 下地鉄筋	100.00	kg	100.00	10000.00
14 下地鉄筋	100.00	kg	100.00	10000.00
15 下地鉄筋	100.00	kg	100.00	10000.00
16 下地鉄筋	100.00	kg	100.00	10000.00
17 下地鉄筋	100.00	kg	100.00	10000.00
18 下地鉄筋	100.00	kg	100.00	10000.00

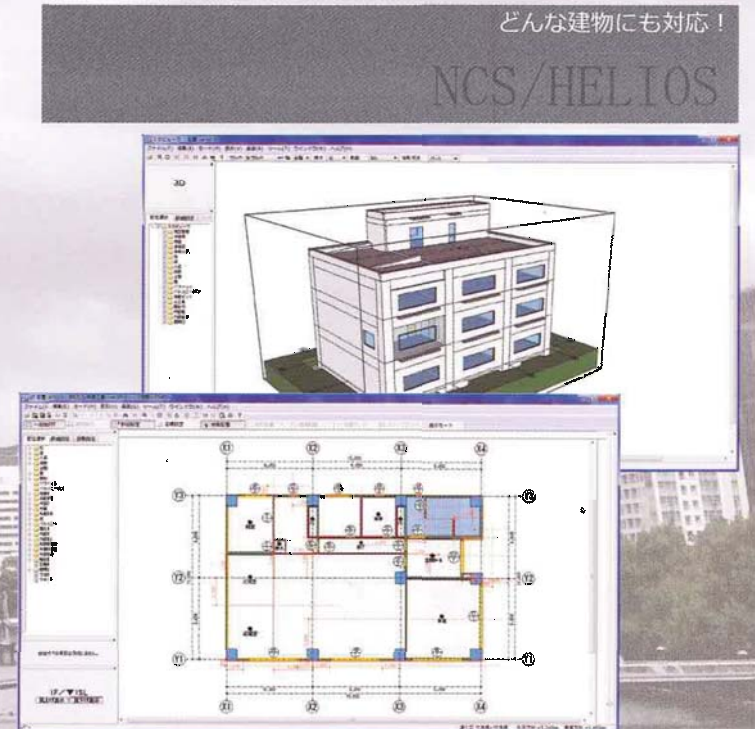
面積計算必要なし！図面計測の効率化！

Screenshot of the TDS software showing a 2D floor plan with area calculation data. The data is presented in a table with columns for item name, area, and cost.

品名	面積	単価	合計
1 1F 下地鉄筋	12.18	100.00	1218.00
2 1F 下地鉄筋	12.18	100.00	1218.00
3 1F 下地鉄筋	12.18	100.00	1218.00
4 1F 下地鉄筋	12.18	100.00	1218.00
5 1F 下地鉄筋	12.18	100.00	1218.00
6 1F 下地鉄筋	12.18	100.00	1218.00
7 1F 下地鉄筋	12.18	100.00	1218.00
8 1F 下地鉄筋	12.18	100.00	1218.00
9 1F 下地鉄筋	12.18	100.00	1218.00
10 1F 下地鉄筋	12.18	100.00	1218.00
11 1F 下地鉄筋	12.18	100.00	1218.00
12 1F 下地鉄筋	12.18	100.00	1218.00
13 1F 下地鉄筋	12.18	100.00	1218.00
14 1F 下地鉄筋	12.18	100.00	1218.00
15 1F 下地鉄筋	12.18	100.00	1218.00
16 1F 下地鉄筋	12.18	100.00	1218.00
17 1F 下地鉄筋	12.18	100.00	1218.00
18 1F 下地鉄筋	12.18	100.00	1218.00

どんな建物にも対応！

NCS/HELIOS



※NCS/HELIOS は株式会社日積の商品です。



TOMOデータサービス株式会社

URL: <http://www.tomodata.co.jp> E-Mail: info@tomodata.co.jp

大阪本社：〒531-0041 大阪市北区天神橋7丁目5-23 渋谷ビル TEL(06)6351-8452 FAX(06)6351-8925

東京事務所：〒110-0015 東京都台東区東上野3丁目14-7 龍田ビル TEL(03)5816-7080 FAX(03)5816-7081